



## < プログラム >

### 2012～13年度 青少年交換派遣学生

#### 大塚美月さん スピーチ

(本日のあいさつは、アメリカのロータリーホストクラブであいさつする内容のもの)



皆さんこんにちは、私の名前は大塚美月です。私はロータリーの2690地区から派遣されています。

私の住んでいるところの紹介をさせていただきます。私は鳥取県の南部町に住んでいます。南部町は、桜の花がとても有名です。そして、伝統的な一色飾りでも有名です。そして、最もきれいなとっとり花回廊という公園もあります。私はこのような美しい自然の中で育ちました。私は、鳥取の有名なところを考えますと、やはり境港だと思っています。境港はカニがたくさん捕れる事で有名です。そして、たくさんの観光客がゲゲゲの鬼太郎に引き寄せられてきています。その漫画家の奥さんの話も有名です。境港は鳥取県を代表する町です。もし、興味があれば、妖怪列車に乗れます。その電車は米子駅の0番ホームから出ています。また、米子鬼太郎空港からも境港に行けます。

皆様方の日本の地震に対する厚意にとっても感謝しています。皆様方のたくさんの励ましにとっても感謝しています。そして、たくさんの援助をいただきましたことにも感謝しています。そのときに何が起きているのかよく分かりました。テレビを見ているときにこの現実が分かりました。このとき私は、自分でできるすべてのことをしようと思いました。そのとき、全世界の人たち、そして、合衆国を含むすべての方たちのすばやい支援にとっても感謝いたしました。私はこの支援を忘れません。皆様、どうもありがとうございました。

### 「ロータリーの友」紹介

#### 雑誌委員会リーダー 北沢薫会員

今年度、ロータリーの友の紹介をさせていただきます。新入会員の方にロータリーのことをよく分かっていただきたい。早く知っていただきたい。ということを目指にがんばりたいと思います。1年間よろしく願いいたします。



- (1) ロータリーの友の表紙:今年度RI会長になられた田中作次会長の写真
- (2) 2012-13RIテーマ:Peace Through Service「奉仕を通じて平和を」
- (3) RI会長メッセージ:「奉仕を通じて平和を」
- (4) ロータリーの誕生とその成長、日本のロータリー
- (5) 新RI会長の紹介(写真)
- (6) 2012～13年度RI理事メンバーの紹介
- (7) 日本ロータリーの分布図:全国で34地区ある
- (8) 各地区ガバナーの横顔紹介:2690地区ガバナーは森田昭一郎ガバナー(倉敷RC)
- (9) 受け継がれる灯を、ともし続けるために:米山基金について
- (10) バンコクで友情を深め奉仕を考える:2012年 バンコク国際大会

## 「クラブ運営方針」

永島清孝幹事



今年度、幹事の永島清孝です。入会17年目になります。この伝統があり、格式のある米子東ロータリークラブの幹事として、クラブのため、会員皆様のため、一生懸命やり通す覚悟でございます。どうかこの1年間、よろしくお願い致します。

では、2012～13年度、小谷会長年度のことについてお話させていただきます。小谷会長の基本方針は、チャレンジ精神と継続性を大切にして、井上会長年度より始まった「チャレンジ100」を継承し、「クラブをより効率的で活性化し、実りあるロータリー活動を共に楽しみましょう」であります。その中で小谷会長のチャレンジ100は、会員数100名を目指す。例会出席率メイクアップを含め100%を目指す。そして、会費納入100%を目指す。であります。皆様もご承知の通り、ロータリアンは基本的に3大義務を持っています。

まず1つは、例会に出席すること。二つ目は、会費を納入すること。三つ目は、ロータリー雑誌を購読し、ロータリーの知識を広めることであります。わが米子東ロータリークラブは会員数が83名と、鳥取、島根では最大規模のクラブであります。他のクラブのお手本となるように、この3大義務はぜひとも実行していただきたいものであります。そして、前年度、2690地区ガバナーでありました伊藤ガバナーから昨年ガバナー公式訪問例会で指摘がありましたが、クラブの会員数は多く、財政も豊かではあるが、「ロータリー財団への寄付が少ない」とキツイ指摘がありました。この点、よろしくご協力をお願い申し上げます。

さて、楽しいクラブの要は、会員の親睦であります。親睦委員会の親睦活動、各委員会活動、各同好会活動に積極的に参加して、クラブを活性化し、会員相互の親睦と家族を含めた親睦も深めていただきますようお願いを申し上げます。

出席率向上のため、メイクアップの取扱いについては、前年度、尾沢会長年度と同じようにできるだけ緩和しようと思っております。

年間の行事予定表は、皆様のお手元に届いていると思います。早速、来週18日の例会は、今年度2690地区のガバナーであります森田昭一郎ガバナーの公式訪問例会日であります。わがクラブの元気をみてもらうためにも、万難を排してこの7月18日に多くの会員の皆様に出席していただきたいものであります。

今年度の大きな行事を申し上げます。まず、第一としては、青少年交換学生の受け入れであります。本日スピーチをしていただいた米子松蔭高校の大塚美月さんが、わがクラブの推薦で8月1日からアメリカ、オハイオ州の方に留学されます。そして、受け入れ学生として、同じくアメリカ、ケンタッキー州より、ウィリアム・リチャード・ジョンソン君が8月に来日し、来年7月まで米子松蔭高校で学びます。問題は、受け入れのホストファミリーであります。当面は、大塚美月さん宅でお世話になるわけですが、本来は、ロータリアンがホストファミリーになるべきものだそうであります。ジョンソン君が来日すれば、月に1回はこの例会に参加します。また、例会以外の活動にも参加してもらうつもりです。ぜひとも、会員の皆様、ホストファミリーを引き受けていただきますようお願いいたします。

第二は、新地区補助金の対象事業についてであります。当初、昨年、おとしと同じ作文コンテストを申請しましたが、地区の方から継続事業は認められないとの返事があり、急遽、上森会員のお世話で、今年完成予定のサッカー場であります強小の森スポーツ公園YAJINスタジアムに12月1日、スポーツクラブの子供たちと共に、周辺環境整備の一環として桜の木を植樹するプロジェクトを申請いたしました。

三つ目は、グレン&千杯・第9回ロータリー選抜野球大会がわがクラブ主催となってこの米子で開催されます。期日は11月2日～4日であります。全国から16チームのロータリークラブの野球チームが参加されます。わがクラブあげて協力をし、ぜひとも成功させたいものであります。

この他には、まだ期日は決まっていますが、友好クラブである徳島、阿南南ロータリークラブの来訪がある予定です。そして、韓国ソウルのイェジャンロータリークラブの訪問があるかもしれません。

また、今年度は、わがクラブ創立45周年に当たります。その事業として何かやるのか、やらないのか、これからの理事会で決めていきたいと思っております。

皆様のお手元に届いております委員会の構成メンバー表は、小谷会長と私とで練りに練って作り上げたものです。各理事、リーダーの方を中心に各委員会活動を活発にし、会員相互の絆を深めていただき、ロータリー活動を楽しんでいただけたらと思っております。

何か、ご意見、ご質問があれば、まずはこの幹事までお申し出下さい。どうか、この1年間、ご協力と、ご指導・ご鞭撻をいただきますようお願いを申し上げ、幹事の卓話とさせていただきます。

どうもありがとうございました。